

2026年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月15日

上場会社名 ニッケ（日本毛織株式会社） 上場取引所 東
 コード番号 3201 URL <https://www.nikke.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）長岡 豊
 問合せ先責任者（役職名）経営戦略センター経理室長（氏名）石田 保史 TEL 06-6205-6635
 半期報告書提出予定日 2026年7月15日 配当支払開始予定日 2026年8月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年12月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年11月期中間期	59,710	1.9	5,590	13.6	6,158	12.8	4,512	27.4
2025年11月期中間期	58,612	9.3	4,920	5.4	5,461	7.9	3,543	△3.6

（注）包括利益 2026年11月期中間期 9,535百万円（127.1％） 2025年11月期中間期 4,198百万円（△38.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期中間期	68.30	—
2025年11月期中間期	51.37	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年11月期中間期	195,326	135,671	69.3	2,078.78
2025年11月期	189,756	132,152	69.4	1,964.90

（参考）自己資本 2026年11月期中間期 135,397百万円 2025年11月期 131,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	17.00	—	30.00	47.00
2026年11月期	—	18.00	—	—	—
2026年11月期（予想）	—	—	—	32.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	130,000	8.9	13,000	9.1	13,400	3.3	9,500	4.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社(社名) 株式会社カコテクノス、除外 1社(社名) 株式会社ニッケ・マーキュリー
サンテック株式会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年11月期中間期	74,278,858株	2025年11月期	74,278,858株
② 期末自己株式数	2026年11月期中間期	9,145,806株	2025年11月期	7,275,584株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年11月期中間期	66,075,185株	2025年11月期中間期	68,977,856株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記の予想と実績との間には、今後の様々な要因によって差異が生じる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(中間連結損益計算書)	7
(中間連結包括利益計算書)	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

ニッケグループは、中長期ビジョン「ニッケグループRN(リニューアル・ニッケ)130ビジョン(2017～2026年度)」(以下「RN130ビジョン」という)において、各事業が魅力的な事業を創造し、今後の更なる企業価値向上に向けて、永続的な成長と発展を目指すことを掲げております。

当連結会計年度は、「RN130ビジョン」の最終フェーズとなる「RN130第3次中期経営計画(2024～2026年度)」の最終年度であり、ビジョン達成に向けた総仕上げの一年となります。国内外の経済環境は先行き不透明な状況が続いておりますが、この様な環境変化にしなやかに対応し、過去最高の売上高、各利益を更新することを目指し、「RN130ビジョン」の実現に向けた施策を実行しております。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高59,710百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益5,590百万円(前年同期比13.6%増)、経常利益6,158百万円(前年同期比12.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益4,512百万円(前年同期比27.4%増)となりました。

衣料繊維事業が前期から続くスクールユニフォームの流通在庫過多の影響を受け低調に推移したものの、産業機材事業で当期から株式会社カコテクノス(以下「カコテクノス」)が連結業績に寄与したことに加え、人とみらい開発事業が好調だったこと等により、増収増益となりました。

各事業セグメントの概況は以下のとおりです。

① 衣料繊維事業

衣料繊維事業の当中間連結会計期間の業績は売上高13,682百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益280百万円(前年同期比36.8%減)となりました。

(ユニフォーム分野)

学校制服用素材は、前期から続く流通在庫過多の影響により、不調でした。官公庁制服用素材は、警察向けは堅調、消防向けは前年同期並みでしたが、官庁向けが好調で、全体では好調でした。一般企業制服用素材は、大口物件の納品があり好調でした。

(テキスタイル分野)

一般衣料用素材は、国内では、スーツ生地等の販売が不調でした。海外では、欧米向けの販売が伸長し好調でした。ニット関連は、製品の販売は好調でしたが、糸・編地の販売は、不調でした。

② 産業機材事業

産業機材事業の当中間連結会計期間の業績は売上高19,623百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益1,458百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

(モビリティ関連分野)

自動車向けの不織布等は、不採算品の整理・縮小の影響をその他の製品販売でカバーし、売上は堅調でした。エアバッグ用縫製糸等の資材は、顧客からの引き合いが増加し好調でした。車載電装品他製造ラインのファクトリーオートメーション設備は、顧客の設備投資抑制から受注は減少傾向にありますが、売上は前年同期並みでした。また、当期より連結の範囲に含めたカコテクノスが業績に貢献しました。

(環境関連分野)

環境・エネルギー関連資材は、低調でした。

(その他産業関連分野)

OA向け資材・その他工業用資材は低調でしたが、半導体関連装置や画像検査装置は、好調でした。

(生活関連分野)

ラケットスポーツ関連は、堅調でした。フィッシング関連は、低調でした。楽器用フェルトは、中国市況低迷の影響を受け不調だった前期との比較では増収となりました。衛生材料用不織布は、新規案件の引き合いもあり堅調でした。

③ 人とみらい開発事業

人とみらい開発事業の当中間連結会計期間の業績は売上高12,882百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益3,878百万円(前年同期比15.5%増)となりました。

(商業施設運営分野)

商業施設運営は、一部テナントとの契約形態変更に伴い減収となりましたが、イベント企画や新規店舗開店の効果等により来館者数は増加しました。自社所有外の商業施設におけるプロパティマネジメント及びコンサルティング業務は、前年同期並みでした。

(不動産開発・建設分野)

不動産賃貸事業は、高い入居率を維持し安定収益を確保したことに加え、2025年に竣工したオフィスビル「八重洲通フィルテラス(東京都中央区)」や賃貸住宅「SAVE夙川(兵庫県西宮市)」が収益に寄与したこと、八重洲通フィルテラス竣工に伴う開業経費が当期は発生しなかったことから、増収増益となりました。ソーラー事業は、前年同期並みでした。建設関連は、建築資材及び人件費の高騰が継続しているものの、工事案件が着実に完工し堅調でした。

(ライフサポート分野)

保育関連は、一部施設の閉鎖等に伴い減収となりました。介護関連は、前年同期並みでした。スポーツ関連は、ゴルフは天候の影響も受け低調でしたが、テニスは堅調でした。

(通信及び新規サービス分野)

収益性と事業リスクを考慮し事業から撤退しました。

④ 生活流通事業

生活流通事業の当中間連結会計期間の業績は売上高11,198百万円(前年同期比7.8%減)、営業利益560百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

(寝装品及び業務用品分野)

寝装品は、不採算商品の整理・縮小を進めたことで売上は不調でした。業務用品は、航空機内膝掛け等の受注が安定的に推移し前年同期並みとなりました。

(生活雑貨分野)

家具類販売は、前年同期並みでした。100円ショップ向け等の雑貨販売は、不調でした。生活家電は、季節商戦が奏功し前年同期を上回りました。フィルム関連は、学校用タブレット向けやゲーム機向けの販売が好調でした。

(ホビー・クラフト分野)

スタンプ販売は、主力商品が苦戦し低調でした。スタンプ用インクは、海外販売が増加したものの国内販売が苦戦し低調でした。乗馬用品販売は、価格改定の効果もあり好調でした。

(その他)

保険代理店は、新商品の販売が寄与し好調でした。コンテナ販売は、受注減少により不調でした。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は91,517百万円(前連結会計年度比1.3%減)となりました。その主な内容は、売上債権の減少6,449百万円や現金及び預金の増加3,324百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,413百万円等であり

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は103,809百万円(前連結会計年度比6.9%増)となりました。その主な内容は、投資有価証券の増加4,507百万円や建設仮勘定の増加1,255百万円等であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は34,472百万円(前連結会計年度比2.7%減)となりました。その主な内容は、その他流動負債の減少1,105百万円や短期借入金の増加129百万円等であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は25,183百万円(前連結会計年度比13.6%増)となりました。その主な内容は、繰延税金負債の増加2,547百万円や長期借入金の増加361百万円等であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は135,671百万円(前連結会計年度比2.7%増)となりました。その主な内容は、その他有価証券評価差額金の増加4,830百万円や利益剰余金の増加2,649百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月15日公表の予想数値より変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,023	32,347
受取手形、売掛金及び契約資産	27,637	21,187
有価証券	2,300	1,800
商品及び製品	18,955	19,038
仕掛品	6,738	7,201
原材料及び貯蔵品	5,046	6,459
その他	3,067	3,558
貸倒引当金	△80	△76
流動資産合計	92,689	91,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,146	26,096
機械装置及び運搬具(純額)	6,959	6,632
土地	18,552	18,976
建設仮勘定	481	1,737
その他(純額)	699	766
有形固定資産合計	52,839	54,209
無形固定資産		
のれん	440	363
その他	1,417	1,501
無形固定資産合計	1,858	1,865
投資その他の資産		
投資有価証券	37,066	41,574
長期貸付金	2	2
破産更生債権等	50	44
長期前払費用	214	199
退職給付に係る資産	1,840	1,867
繰延税金資産	1,533	1,399
その他	1,744	2,725
貸倒引当金	△83	△77
投資その他の資産合計	42,369	47,735
固定資産合計	97,067	103,809
資産合計	189,756	195,326

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,783	9,887
短期借入金	11,602	11,732
1年内償還予定の社債	18	14
未払法人税等	2,398	2,267
賞与引当金	2,037	2,066
製品保証引当金	138	138
その他の引当金	3	21
その他	9,450	8,345
流動負債合計	35,433	34,472
固定負債		
社債	23	16
長期借入金	2,600	2,961
繰延税金負債	8,897	11,445
退職給付に係る負債	2,283	2,371
長期預り敷金保証金	6,983	7,050
資産除去債務	283	277
その他	1,099	1,060
固定負債合計	22,170	25,183
負債合計	57,603	59,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,465	6,465
資本剰余金	3,910	3,940
利益剰余金	110,766	113,416
自己株式	△7,430	△11,358
株主資本合計	113,712	112,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,144	19,974
繰延ヘッジ損益	154	144
為替換算調整勘定	1,283	1,514
退職給付に係る調整累計額	1,359	1,299
その他の包括利益累計額合計	17,942	22,933
非支配株主持分	498	274
純資産合計	132,152	135,671
負債純資産合計	189,756	195,326

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
売上高	58,612	59,710
売上原価	42,569	42,754
売上総利益	16,042	16,956
販売費及び一般管理費	11,122	11,365
営業利益	4,920	5,590
営業外収益		
受取利息	38	44
受取配当金	439	455
為替差益	-	10
持分法による投資利益	50	49
付加価値税還付金	213	-
受取補償金	-	142
その他	158	199
営業外収益合計	899	902
営業外費用		
支払利息	76	91
為替差損	64	-
租税公課	47	45
社宅経費	36	38
その他	134	157
営業外費用合計	359	333
経常利益	5,461	6,158
特別利益		
固定資産売却益	-	60
投資有価証券売却益	-	749
特別利益合計	-	810
特別損失		
減損損失	15	-
関係会社株式売却損	-	80
事業構造改善費用	133	126
特別損失合計	148	206
税金等調整前中間純利益	5,312	6,762
法人税、住民税及び事業税	1,803	2,263
法人税等調整額	△68	△40
法人税等合計	1,735	2,222
中間純利益	3,576	4,539
非支配株主に帰属する中間純利益	33	27
親会社株主に帰属する中間純利益	3,543	4,512

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
中間純利益	3,576	4,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	841	4,830
繰延ヘッジ損益	41	△6
為替換算調整勘定	△246	215
退職給付に係る調整額	△10	△60
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	16
その他の包括利益合計	622	4,995
中間包括利益	4,198	9,535
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,151	9,503
非支配株主に係る中間包括利益	47	32

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,312	6,762
減価償却費	1,974	2,195
減損損失	15	-
のれん償却額	113	76
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	△16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△154	△181
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	12	2
受取利息及び受取配当金	△477	△500
支払利息	76	91
持分法による投資損益(△は益)	△50	△49
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△749
関係会社株式売却損益(△は益)	-	80
固定資産売却損益(△は益)	△4	△62
固定資産除却損	25	13
売上債権の増減額(△は増加)	6,640	6,305
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,181	△1,005
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,595	142
その他	△1,349	△1,463
小計	8,337	11,643
利息及び配当金の受取額	619	609
利息の支払額	△77	△91
法人税等の支払額	△2,084	△2,506
法人税等の還付額	52	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,848	9,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	0	0
固定資産の取得による支出	△3,855	△3,000
固定資産の売却による収入	9	269
投資有価証券の取得による支出	△150	△1,014
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	980
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△125
貸付けによる支出	△3	-
貸付金の回収による収入	0	0
事業譲渡による収入	367	-
保険積立金の解約による収入	-	88
出資金の償還による収入	-	43
その他	13	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,619	△2,741

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	690	301
長期借入れによる収入	2,700	300
長期借入金の返済による支出	△1,060	△151
社債の償還による支出	△10	△11
リース債務の返済による支出	△33	△21
自己株式の取得による支出	△0	△3,956
配当金の支払額	△1,653	△2,007
長期預り敷金及び保証金の受入による収入	424	248
長期預り敷金及び保証金の返還による支出	△133	△231
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得 による支出	△482	-
その他	△10	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	429	△5,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,595	1,456
現金及び現金同等物の期首残高	33,419	31,293
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	1,366
現金及び現金同等物の中間期末残高	37,015	34,116

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、㈱カコテクノス及びサンテック㈱を連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった㈱ニッケ・マーキュリーの全株式を売却したことにより、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	13,785	17,587	13,096	12,147	56,616	1,995	—	58,612
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	35	342	34	519	—	△519	—
計	13,891	17,622	13,439	12,182	57,136	1,995	△519	58,612
セグメント利益	443	1,206	3,357	583	5,590	150	△819	4,920

- (注) 1. セグメント利益の調整額△819百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△840百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注3)	調整額 (注1)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	13,682	19,623	12,882	11,198	57,386	2,323	—	59,710
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	56	426	34	618	—	△618	—
計	13,783	19,679	13,309	11,233	58,005	2,323	△618	59,710
セグメント利益	280	1,458	3,878	560	6,177	184	△772	5,590

- (注) 1. セグメント利益の調整額△772百万円には、セグメント間取引消去24百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△797百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から 生じる収益	13,744	17,512	11,190	12,147	54,595	1,972	56,567
(2)その他の収益(注2)	40	74	1,905	—	2,021	23	2,044
計	13,785	17,587	13,096	12,147	56,616	1,995	58,612

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当中間連結会計期間(自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額
	衣料繊維 事業	産業機材 事業	人とみらい 開発事業	生活流通 事業	合計		
売上高							
(1)顧客との契約から 生じる収益	13,640	19,533	10,836	11,198	55,210	2,303	57,513
(2)その他の収益(注2)	41	89	2,045	—	2,176	20	2,197
計	13,682	19,623	12,882	11,198	57,386	2,323	59,710

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器販売等を含んでおります。

2. 「その他の収益」はリース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。